



三原から“しまなみ”へ スポーツバイク店 「BONDCYCLEみはら」創業を地域で支援

BONDCYCLEみはら

〔代表者〕藤 頼久さん 〔住所〕三原市和田3丁目2-27
〔TEL〕080-3880-8098 〔営業時間〕10:00~18:30
〔定休日〕水曜日

◆三原を創業地を選んだ理由

實廣：スポーツバイク店を開業するきっかけを教えてください。

藤：これまで福祉の現場で人と向き合う仕事に携わる中、健康のために始めたサイクリングに魅了され、開業を決意し、広島市のスポーツバイクプロショップで約8年間の勤務を経て、自転車技士、自転車安全整備士の資格を取得しました。「自転車を通じて、もっと多くの人の生活を豊かにしたい」という思いから、2026年1月に開業しました。

實廣：三次出身の藤さんが、三原を創業地を選ばれたのはどんな理由だったのでしょうか？

藤：三原は“しまなみ海道の玄関口”として、もっと可能性があると感じています。須波港からのアクセスは本当に便利で、ここなら初心者の方にもサイクリングの楽しさを広められると確信し、創業の地を選びました。



店内にはTREK、Fujiの様々なスポーツバイクがずらり

實廣：本所へのご相談のきっかけは何だったのですか？

藤：しまなみ街道沿いでの開業を決めて物件を探していました。まずは、フクビズ(福山ビジネスサポートセンター)で創業計画の作成支援を受けたのですが、事業の方向性や収支計画を固め、創業地を三原に決めた段階で、フクビズの担当者から「これからは地元の商工会議所で支援してもらおうが一番ですよ」と勧められたことがきっかけでした。

實廣：本所の「事業環境変化対応経営相談」をご利用いただきましたが、感想をお聞かせください。

藤：牧野先生からは戦略面、實廣さんからは実務面と、それぞれの専門性を活かしたサポートを頂きました。お二人の支援があったからこそ、安心して開業準備を進められました。



Instagram
BONDCYCLEMHHARA
ホームページ

三原市須波港近くに、しまなみ海道の玄関口として新たなスポーツバイク店「BONDCYCLEみはら」が誕生。代表の藤さんに、實廣経営指導員がお話を伺いました。



apioの天羽氏(左から2番目)にホームページ開設について相談

◆ホームページ制作と情報発信

實廣：ホームページ開設では、専門家の「apio/アピオ」の天羽さんを紹介させていただきました。

藤：天羽さんには丁寧に寄り添っていただき、私の想いやお店の魅力を言語化しながら形にしてくださいました。とても感謝しています。牧野先生・天羽さん・實廣さん、そして私の4人で一つのチームのように同じ方向を向いて支えてくださったおかげで、店舗のコンセプトやしまなみ海道の魅力がしっかり伝わるサイトになりました。

さらに、Instagramでも積極的に情報を発信し、日々の取組みや地域の魅力をタイムリーに届けることで、地域内外のサイクリストの皆さんにフォローいただいています。

◆「日常を冒険に！」地域に愛される店をめざして

藤：今後、「BONDCYCLEみはら」を多くの方に知っていただき、人と人をつなぐ“ボンド”のような場所にしたいです。そして、「日常を冒険に！」の思いのもと、しまなみ海道をもっと身近に感じてもらい、三原からサイクリングの楽しさが広がっていくことをめざします。



事業環境変化対応経営相談の相談員 牧野氏と店舗訪問しました
(左から牧野氏、藤代表、實廣経営指導員)

聞き手：本所経営指導員 實廣 雅代